

各位

「医薬品事業の承継のお知らせ」

「あゆみ製薬」へ医薬品事業を承継し、

「歯科領域に特化したスペシャリティファーマ」として事業を展開

～歯周病の予防・診断・治療までを一貫して支える、歯科医薬品のリーディングカンパニーへ～

昭和薬品化工株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、本日付で当社の医薬品事業を、あゆみ製薬（本社：東京都中央区、以下「あゆみ製薬」）に承継し、「歯科領域に特化したスペシャリティファーマ」として、歯科領域に対象を絞り、集中的に事業を展開いたします。

今後は、これまで築いてきた歯科に携わる先生方との関係性をますます発展させ、情報提供・製品販売活動を展開してまいります。

1. 本事業承継の目的・意義について

当社はこれまで、“徹底的な「ニッチ」「独自」「高付加価値」の追求”を経営方針として、解熱、鎮痛用途に使用されるアセトアミノフェン市場で約80%のマーケットシェアを持つ「カロナール」を中心とした医薬品事業と、歯科用局所麻酔剤でトップシェアを持つ「オーラ注」や歯周炎治療薬「ペリオフィール」等を有する歯科医薬品事業の2つの事業を両輪で展開してまいりました。

こうした中、歯科領域においては、全身疾患の原因としても指摘される歯周病の治療ニーズの拡大や、老年人口増加等の要因による在宅歯科治療ニーズの拡大など、今後の急速な市場環境の変化、市場規模の拡大の兆しが見え始めました。

当社は、この変化する環境を好機と捉え、本事業承継を決定いたしました。これまで当社の中で「安定収益の柱」として位置づけられてきた歯科領域に今後は大胆に経営資源を投下し、「歯科領域に特化したスペシャリティファーマ」として成長を追求してまいります。

2. 具体的に注力していく2つの分野

(ア) 全身疾患の入り口ともなる、歯周病治療の体系化・イノベーションの創出

歯周病は近年、糖尿病だけでなく、心血管系疾患、呼吸器感染症、早産、低体重児出産などのさまざまな全身疾患との関係性が指摘され、その治療の重要性がますます高まりつつある疾患です。30代以上の歯周病罹患率は約8割ともいわれ、患者数は今後も増加していくことが予想される一方、必ずしも受診率は高いとはいえません。

今後、当社ではこれまで展開してきた外科的治療・薬剤治療に限らず、「歯周病の予防・診断・治療までを一貫して支える」総合的な治療プログラムの提案・ソリューションの提供に注力し、全身疾患の入り口となる歯周病について、より早期かつ適切な治療環境の実現に貢献してまいります。

(イ) 拡大する在宅歯科治療ニーズへの対応

老年人口増加等の要因から、がんなどの慢性疾患患者が増えていく中、政府においても医療費抑制に向けて在宅治療の拡大は検討・整備が進んでいます。こうした動きに伴い、在宅歯科治療においても持ち運び可能な治療器具など、新たなニーズが生まれ始めています。当社ではこの在宅歯科を注力領域と位置づけ、革新的な製品開発、医療関係者への情報提供に努力してまいります。

3. 「昭和薬品化工」会社概要

会社名： 昭和薬品化工株式会社
本社（製造販売元）： 東京都中央区京橋二丁目17番11号 三栄ビル別館4階
登記上の本店： 東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー19階
代表者： 代表取締役社長 大内 光（おうち ひかる）
創業年： 1948年
資本金： 3億円
事業内容： 医薬品、医療機器、医薬部外品等の製造販売および輸出入
ウェブサイト： <http://www.showayakuhinkako.co.jp/>

以上